

シリーズ 認知と文化

心を名づけること 上

心理学の社会的構成

Naming the Mind : How Psychology Found its Language

カート・ダンジガー *Kurt Danziger*

河野哲也 [監訳]

**NAMING THE MIND:
How Psychology found its Language,**

1997 by Kurt Danziger

**English language edition published by Sage Publications of London,
Thousand Oaks and New Delhi, ©Kurt Danziger, 1997**

**Japanese translation published by arrangement
with Sage Publications Ltd
through The English Agency (Japan) Ltd.**

心を名づけること 心理学の社会的構成 (上)

目次

第一章 心を名づけること……………1

1 もうひとつの心理学 1

2 心理学のカテゴリー 10

3 歴史記述 16

4 本書の概観 27

第二章 古代の哲学者たち……………37

1 自己自身にとっての対象として的人格 42

2 理性 49

3 アリストテレスにおける感情 54

4 アリストテレス以降のいくつかのテーマ 60

第三章 大転換……………67

1 一八世紀の新趣向 68

2 情念から情動へ 72

3 道具的理性 78

4 動機そして行為の偶発性 82

5 新たな自己の意味 86

第四章 生理学的背景……………93

1 心理学と生理学 93

2 「刺激作用」の生気論的ルーツ 99

3 反射概念の分岐 106

4 心的エネルギーというメタファー 113

第五章 知能を地図に載せる……………119

1 生物学的ルーツ 119

2 現代の知能とは何でないか 129

3 普遍的教室 134

4 心理計測的知能 143

第六章 行動と学習 153

1 「行動」の五層 157

2 推測された心 161

3 自然主義的な社会科学 169

4 ささまざまな主義と恣意性 174

5 実践的範例 178

6 行動と制御 181

7 「学習」の抽象化 184

注 197

訳者解説（河野哲也） 209

下巻目次

第七章 動機づけとパーソナリティ

- 1 動機づけへの関心
- 2 動因という概念の登場
- 3 規範としての動機づけ心理学
- 4 パーソナリティのカテゴリ——その歴史
- 5 パーソナリティの心理学と文化的保守主義

第八章 態度

- 1 辛先のよくない始まり
- 2 態度はいかにして「社会的」になったか
- 3 成功の香り——態度は測定される
- 4 態度の多様性 vs. イデオロギー？

第九章 メタ言語——技術的枠組み

- 1 刺激—反応心理学の重要性
- 2 心理学者と「変数」の出会い
- 3 理論的言説への変数の導入
- 4 研究実践における変数
- 5 共通語としての変数
- 6 理論的考察

第一〇章 「心理学的種」の本質

- 1 心理学のカテゴリの歴史的起源
- 2 心理学的言語の政治学
- 3 心理学のカテゴリの指示対象
- 4 自然種か、人工種か

注

訳者解説 (五十嵐靖博)

参考文献

事項索引

人名索引